

告示

本日 安田女子大学造形デザイン学科に入学された皆さん、入学おめでとうございます。

新型コロナウイルスにより、世界中の人々が家に閉じこもってじっとしている事を余儀なくされている中、入学式の式典は中止になりましたが、このような形ででも、皆さんと奇跡的に出会えたことに感謝しています。

保護者の皆様におかれましては、新入生の晴れの舞台にご同席いただけず残念な思いをされていることと存じます。我々教職員一同も皆様にお会いできず大変残念であり、またこのような事態となり申し訳なく思います。今回のウィルス対応が落ち着きましたら、保護者懇談会等の機会も設けられると思います。その際はぜひ大学にお越しいただき皆様と直接お話しできる事を延期されたオリンピック同様、楽しみにしてお待ちしています。

さて、新入生の皆さん、安田女子大学へよくおいで下さいました。また、造形デザイン学科を選んでくれてありがとうございました。

皆さんの中には造形デザイン学科を目指して入試に臨み、合格をつかみ取って入学された方もいることと思います。よくがんばってこられました。あらためておめでとうございます。

一方で、もしかすると第一志望の大学・学科が別にあって、挫折の思いを抱えてこの場に来られた方もいらっしゃるかもしれません。そのような皆さんにも、これまでの努力・がんばりに敬意を表したいと思います。お疲れ様でした。

皆さんが入学された造形デザイン学科は、先日一期生が卒業したばかりの新しい学科です。学科の設立は「芸術」と「技術」の融合という、前例のないチャレンジであり、失敗もしながらでしたが手探りで学科の形ができてきました。その結果一期生は就職率 100%を達成し、半数以上の卒業生が学科の学びを反映してクリエイターや技術者として就職し、社会に巣立った全卒業生がこれから活躍を始めようとしています。

一方で、皆さんが大学で学ぶ意味は、就職のためだけにあるわけではありません。

2年前の西日本豪雨災害の事は皆さんもよく覚えていると思います。これから先、100年に一度といわれていた災害が毎年のように起こる「不安」があります。

今日この日は、世界中がパンデミックの中でウィルスの脅威と闘っています。元通りの生活に戻れるか、世界中の人々が「不安」に思っています。

さらに、近い将来、AI が人間の能力を超える「シンギュラリティ」への漠然とした「不安」がある事も忘れてはいけません。

皆さんが大学で学ぶ意味は大学で様々な知識に触れ、経験を重ね、自らの知性を磨く事によってこれらの「不安」と闘う勇気を持つことにあります。

イギリスの教育学者、サー・ケン・ロビンソンは、有名な TED プレゼンテーションで、知性には三つの側面があると述べています。

第一は、知性には多様性があること。様々な情報、知識、価値観に触れ、それらを自分の知性に加えて下さい。

第二に、知性はダイナミックであること。皆さんの知性は異なる価値観、感性を持った別の知性との相互作用で磨かれます。自分と異なる価値観・考え方・意見と出会える事は、実は皆さんにとってとても素晴らしい事なのです。

最後に、知性は皆さんそれぞれが明確に持つべき比類のないものであること。皆さんがそれぞれに、大学での学びを通して自分の知性を大切に磨き続けて下さい。

サー・ケン・ロビンソンはプレゼンテーションの最後に、アメリカのリンカーン大統領の演説を引用しています。

「平穏な過去の時代の定説は、嵐のような現在には役立たない。この時代は困難に満ちている。我々はこの事態とともに立ち上がらなければならない。新たな時代には、新たな思考と行動をもって対処しなければならない。我々自身を解き放ち、この国を救わねばならない。」(Abraham Lincoln)

「知性」は「不安」と闘うための「勇気」となります。

嵐のような現在を乗り越え、生き抜くために、共に闘いましょう!

2020年4月3日 造形デザイン学科長 染岡慎一